

資料 3

山梨県環境整備センターの概算収支計画について

収 入					支 出					(単位：百万円)
項 目	金 額	消費税額	税込額	説 明	項 目	金 額	消費税額	税込額	説 明	
建 設 費 補 助 金	1,368		1,368	施設整備に係る国・ 県補助金	建 設 費	3,042	151	3,193	H18～H20の建設費総 額	
料 金 収 入	4,678	234	4,912	約23万トンを予定	管 理 費	3,036	80	3,116	調査設計、施設の維 持管理費等	
運 営 費 補 助 金	1,067		1,067	県派遣職員人件費補 助金等	財団運営費	445	1	446		
そ の 他	16		16	預金利子、消費税還 付金等	そ の 他	590		590	借入金利子等	
合 計 (A)	7,129	234	7,363		合 計 (B)	7,113	232	7,345		
収支差額(A)－(B)								18		

※H18～H20建設、H21～H26（5.5年間）埋立、H26～H36（10年間）埋立後管理

山梨県環境整備センター 受入単価表

上段：税込み料金 下段：(税抜き料金)

廃棄物の種類		受入料金 (円/トン)	
産業廃棄物	廃プラスチック類	23,100 (22,000)	
	ゴムくず	18,900 (18,000)	
	金属くず	17,850 (17,000)	
	ガラスくず・コンクリートくず (がれき類を除く) 及び陶磁器くず	19,950 (19,000)	
	----- 廃石膏ボード	31,500 (30,000)	
	がれき類	19,950 (19,000)	
	燃え殻 (溶融スラグに限る)	16,800 (16,000)	
	汚泥	無機性汚泥	24,150 (23,000)
		有機性汚泥	26,250 (25,000)
	紙くず	15,750 (15,000)	
	木くず	22,050 (21,000)	
	繊維くず	22,050 (21,000)	
	鉱さい	19,950 (19,000)	
	動植物性残さ	26,250 (25,000)	
	建設系混合廃棄物	26,250 (25,000)	
	石綿含有廃棄物 (非飛散性)	37,800 (36,000)	
廃石綿等 (飛散性)	※ 42,000 (40,000)		
一般廃棄物	焼却灰等 (溶融スラグに限る)	17,850 (17,000)	

※ 廃石綿等 (飛散性) の受入料金は、円/m³

山梨県環境整備センター 受入基準

○共通受入基準

- ・ 著しい①発色性 ②発泡性 ③悪臭 ④飛散性 ⑤火気および発火性を有しないもの。

○個別受入基準

廃プラスチック類	1 最大径が概ね15cm以下であること。 2 中空状態でないもの。
ゴムくず	1 最大径が概ね15cm以下であること。 2 中空状態でないもの。
金属くず	1 最大径が概ね30cm以下であること。 2 中空状態でないもの。
ガラス・コンクリートくず（がれき類を除く）及び陶磁器くず	1 最大径が概ね30cm以下であること。 2 中空状態でないもの。
がれき類	1 最大径が概ね30cm以下であること。 2 中空状態でないもの。
燃えがら	1 溶融固化物に限る。 2 溶出試験結果が判定基準※を超えないこと。
汚泥	1 し尿処理汚泥を除く。 2 溶出試験結果が判定基準※を超えないこと。 3 含水率が85%以下であること。
紙くず	1 飛散防止措置を講じたもの。
木くず	1 最大径が概ね1m以下であること。 2 中空状態でないもの。
繊維くず	1 飛散防止措置を講じたもの。
鉞さい	1 溶出試験結果が判定基準※を超えないこと。 2 最大径が概ね30cm以下であること。
動植物性残さ	1 最大径が概ね30cm以下であること。
建設系混合廃棄物	1 最大径が概ね30cm以下であること。 2 中空状態でないもの。
石綿含有廃棄物（非飛散性）	1 やむを得ない場合を除き、非破壊で搬入すること。 2 概ね10cm以下に裁断されているものは、丈夫な袋等で梱包すること。
廃石綿等（飛散性）	・ 次のいずれかの飛散防止措置が講じられていること。 1 厚さ0.15mm以上のプラスチック袋等に空気をよく抜いて密封した状態で二重梱包されていること。 2 コンクリート等により固形化されていること。
一般廃棄物焼却灰等	1 溶融固化物に限る。 2 溶出試験結果が判定基準※を超えないこと。

※ 溶出試験とは「産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法」（昭和48年環境省告示第13号）による

※ 判定基準とは「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」（昭和48年総理府令第5号）による

受 入 料 金 一 覧 表

(単位：円/t)

		岩手県	秋田県	宮城県	茨城県 ※1	埼玉県 ※2	神奈川県 ※3	新潟県 ※4	京都府	島根県	全国平均	近県平均 ※1～※4	山梨県 環境整備 センター
		いわて グリーンセンター	秋田県環境 保全センター	小鶴沢 処分場	エコフロンティア かさま	環境整備 センター	環境整備 センター	エコパーク いずもざき	瑞穂環境 保全センター	グリーンパーク いずも			
安定型 廃棄物	廃プラスチック類	45,000	29,000	14,000		17,000		26,000	43,000	19,000	28,000	22,000	22,000
	ゴムくず			14,000		17,000		19,000		13,000	16,000	18,000	18,000
	金属くず		7,000	12,000		17,000		17,000		5,000	12,000	17,000	17,000
	ガラス及び陶磁器												
	ガラス及び陶磁器	21,000	7,000	12,000	18,000	17,000	22,000	19,000	20,000	13,000	17,000	19,000	19,000
	石膏ボード		8,000		33,000			27,000	30,000	11,000	22,000	30,000	30,000
	がれき類												
	がれき類	21,000	7,000	12,000	18,000	17,000	22,000	19,000	15,000	5,000	15,000	19,000	19,000
	建設系混合廃棄物							25,000		17,000	21,000	25,000	25,000
	石棉含有物(非飛散性)		7,000	12,000	33,000			38,000	80,000		34,000	36,000	36,000
廃石棉等(飛散性)	53,000	7,000	21,000					150,000		58,000		40,000	
管理型 廃棄物	溶融スラグ				16,000						16,000	16,000	16,000
	汚泥												
	無機性汚泥	18,000	8,000	16,000	21,000		26,000	21,000	18,000	10,000	17,000	23,000	23,000
	有機性汚泥	23,000	12,000	16,000				25,000		11,000	17,000	25,000	25,000
	紙くず		17,000	16,000						13,000	15,000		15,000
	木くず		20,000	14,000				21,000		9,000	16,000	21,000	21,000
	繊維くず		17,000	16,000				21,000		46,000	25,000	21,000	21,000
	鋳さい	15,000	8,000	10,000	17,000	18,000	26,000	15,000	18,000	6,000	15,000	19,000	19,000
	動植物性残さ	26,000						25,000			26,000	25,000	25,000
	産業廃棄物												
溶融スラグ				17,000						17,000	17,000	17,000	
一般廃棄物													
平均		28,000	12,000	14,000	22,000	17,000	24,000	23,000	47,000	14,000	22,000	22,000	22,000

※ 平成20年4月1日時点で営業を行っている全国の公共関与型最終処分場(管理型・山間地理立)の例
 ※ 近県平均(近県平均がないものについては全国平均)を参考に受入単価を設定
 ※ 廃石棉等(飛散性)については、近県の民間処分場(5箇所)の平均単価(円/m³)を参考に積算

民間処分場における処理料金について

(県内の産業廃棄物処分業者69社からの聞き取り調査結果：H21.1月)

「産業廃棄物実態調査」の対象事業者(排出事業者約2,000社(多量排出事業者約140社を含む)及び処理業者約1,700社)のうち、処分業者69社の状況

安定型処分場

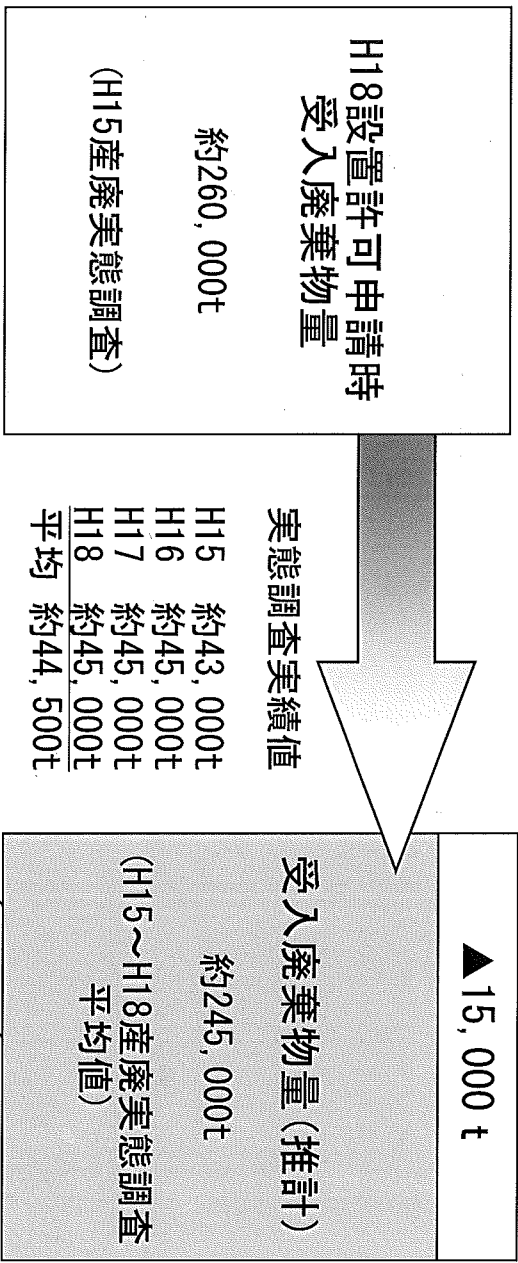
	年間処分量 (t/年)	平均単価 (運搬+処分) (円/t)	センター 受入料金 (円/t)
廃プラスチック類※	7,894	21,839	22,000
料金の幅	10,000 ~ 35,700		
ガラスくず、 陶器くず※	28	17,500	19,000
料金の幅	17,500		
がれき類※	3,038	5,886	19,000
料金の幅	5,743 ~ 10,000		
石綿含有廃棄物 (非飛散性)	1,181	24,555	36,000
料金の幅	10,000 ~ 43,000		
建設系混合廃棄物	2,021	13,669	25,000
料金の幅	10,900 ~ 30,571		

管理型処分場

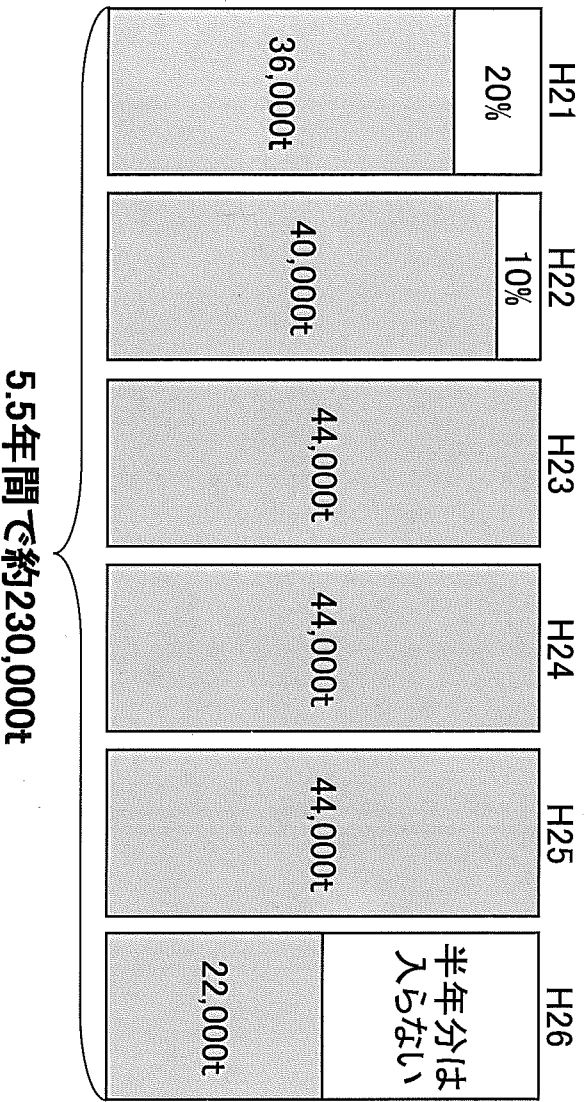
	年間処分量 (t/年)	平均単価 (運搬+処分) (円/t)	センター 受入料金 (円/t)
廃プラスチック類※	2,378	26,160	22,000
料金の幅	11,200 ~ 41,100		
廃石膏ボード	3,429	7,280	30,000
料金の幅	5,000 ~ 27,500		
がれき類※	184	7,000	19,000
料金の幅	7,000		
石綿含有廃棄物 (非飛散性)	291	198,473	36,000
料金の幅	71,700 ~ 208,333		
建設系混合廃棄物	4,967	20,436	25,000
料金の幅	11,000 ~ 57,692		

※安定型品目

山梨県環境整備センター 受入廃棄物の考え方



受入料金設定時(H20.5.27理事会)



※ 開業時から全量を受け入れることは難しいことから、1年目は80%、2年目は90%を見込むこととする。

産業廃棄物実態調査(H15～H18)に基づく産業廃棄物量の推計

(単位:t)

	H15実績	H16実績	H17実績	H18実績	左の平均 (A)	5.5年間の推計値 (B)=(A)×5.5
廃プラスチック類	6,233	5,375	4,533	4,484	5,156	28,358
ゴムくず	86	79	87	90	86	473
金属くず	1,954	1,443	1,508	1,480	1,596	8,778
ガラス・陶磁器くず	3,244	3,112	2,501	2,473	2,833	15,582
がれき類	20,863	23,757	22,868	21,499	22,247	122,359
燃え殻(溶融スラグ)						
汚泥	7,710	8,254	10,930	12,513	9,852	54,186
紙くず	196	146	87	83	128	704
木くず	830	805	743	1,315	923	5,077
繊維くず	63	56	23	23	41	226
鉱さい	1,488	1,472	1,565	790	1,329	7,310
動・植物性残さ	327	303	242	242	279	1,535
産業廃棄物計	42,994	44,802	45,087	44,992	44,470	244,585
焼却灰等(溶融スラグ)						
一般廃棄物計						
合計	42,994	44,802	45,087	44,992	44,470	244,585

※山梨県産業廃棄物実態調査の最終処分量のうち委託処理量